



CLT 広報大使に任命されました！



首相官邸にてCLT広報大使に任命していただきました。

みどりの女神になって以降、よくCLTという文字を目にするようになりまし
た。木の活用技術の進歩によって、使い
づらい形や性質のものも活用され、生活
に木を取り入れる機会が増えていけばと
思います。多くの商業施設や住宅で木材
が使われ、暖かさあふれる、そんな街並
みが増えることが楽しみです。

安全祈願祭出席と 被災地視察のため熊本県へ

熊本県の「菊池渓谷を美しくする保
護管理協議会」からお声がけいただき、
菊池渓谷安全祈願祭という神事に出席
してまいりました。あわせて、熊本地
震の影響を視察しました。

2年前の震災発生後の3週間後に、当
時のみどりの女神、飯塚帆南さんと、
熊本に縁のあるミス日本グランプリの



「組手什」でゴミ仕分け

松野未佳さんが現地に駆けつけました。

その時は緑の募金の支援により、東
日本大震災でも活躍した「組手什」が
避難所に贈られ、先輩ミス日本は、子
供たちと一緒に組手什で棚や間仕切り
を作ったり、がれきの片づけを行った
そうです。私は、その後がどうなっ
ているのか、西原村の山西小学校を訪ね
ました。

学校では四年生と六年生の教室で組
手什は使われていました。また、そこ
で使われていないものは、避難所で使
われていた方々が持ち帰ったそうです。
避難所のものでそのまま捨てられるこ
とも多いそうですが、組手什はとても
軽く、自由に形を変えられるので、靴
箱や傘立てを作って再利用しているそ
うです。先輩方の作ったものが、その
ように今もなお使われていることを聞
き、なんだか私も嬉しくなっていました。

厳しい環境で行われている 復旧現場を視察

阿蘇山の崩落箇所の修復工事現場は、
霧が立ち込めていたため、近くしか見
通せませんでした。ただ、工事をして
いる場所は、崩落したわけですから大
変な斜度の急斜面ということはわかり
ます。現場の方々は霧でも雪でも関係
なく、道路や生活の復旧のために働い
ていらっしゃいました。

そういえばかつて私が伺った林業の
現場では、自然相手に働いているの



熊本森林管理署の皆様と

で、暑い日も寒い日も休むことはでき
ず、本当に大変な作業だと聞きました。
また、その大変な作業があるからこそ、
日本の森林の多さが保たれているので
すが、中々その苦労は多くの方に伝わ
ていないという現実を思うと、より発
信していかなければならないという思
いが強くなります。そんな思いで、復
旧現場を視察しました。

菊池渓谷の安全祈願祭では、保育園
の子どもたちと一緒に散策をしました。
眺めがいいだけでなく、滝の音や木々
のざわめきが本当に気持ちよく、日常
を忘れて心をのびのびと開放するよう
な散策でした。震災から2年たち、やっ
と安全に楽しめるようになった菊池溪
谷の素晴らしい自然が、多くの方に安
らぎをもたらすものであって欲しいと
思いました。